

2023 年 登録ランドスケープアーキテクト（RLA）資格認定試験

二次試験（その１） 問題・解答用紙

注 意 事 項

- ① 二次試験（その１）は、No.1、No.2 の 2 問で、解答時間は 2 時間10分（130分）です。
- ② 問題用紙（下書き用紙含む）は、No.1 が 2 枚、No.2 が 2 枚で合計 4 枚です。
解答用紙はNo.1 が 1 枚、No.2 が 1 枚で合計 2 枚です。
- ③ 問題は全問必須ですから、2 問すべてに解答してください。
なお、配点はNo.1 が20点、No.2 が20点で、40点満点です。
- ④ 解答用紙の全ページに受験番号をご記入ください。
- ⑤ 問題用紙、解答用紙はのり付けを切り放して使用してください。
- ⑥ 解答は、解答用紙に黒の鉛筆、シャープペンシル、またはペン等で記入してください。
下書き等に色を使用してもさしつかえありませんが、色を使った表現を解答した場合はその表現はすべて採点対象外となります。また、下書き用紙への記述はすべて採点対象外です。解答は解答用紙のみ記入してください。
- ⑦ 問題用紙の余白、下書き用紙は、計算等に使用してもさしつかえありません。
ただし、解答用紙には、計算等解答に関係のない記述はしないでください。
- ⑧ なお、二次試験（その１）は、No.1、No.2 のそれぞれの採点結果を合計して評価いたします。
いずれかの採点結果が著しく低い場合は合格に至らない場合があります。
- ⑨ 試験終了後は、解答用紙をページ順に並べ、机の上に置いてください。係員が回収するまでそのままお待ちください。
- ⑩ 問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

No. 1 土地利用ダイアグラムを作成しなさい (配点：20 点)

■出題テーマ

自然地域資源や産業を活かした住みやすく活気あるまちづくり

■設問

計画対象地は古くは城が置かれ、港を中心に海運で栄え、戦後は海水浴や保養など観光の拠点として発展してきた。しかし、高速道路に直結する国道の開通により、市街地を素通りする現象が現れ、観光交流人口が年々減少し、少子高齢化の影響を受け定住人口も減少の一途を辿っている。

一方、町全体ではテレワーク就業者の増加や国の施策である農業の6次産業化（農業×加工×販売・サービス）の流れを契機として、海水浴場や山林の豊かな自然、農業・漁業といった産業を活かした住みやすく活気ある街づくりを進めている。

設問：こうした状況を踏まえ、以下に示す計画地の現状と現況図を読み解き、解答用紙に、出題テーマを踏まえたまちづくり計画の方針を述べるとともに、方針に沿った土地利用ダイアグラムを作成しなさい。

■計画地の現状

1. 市街地の状況

☐

駅南側には市街地が発達。商店街や住宅が密集し、市役所をはじめとする行政施設が集中している。しかし、全体に高齢化や観光客の自動車による来訪が増えたため、商店街では空き店舗が目立ち、住宅地にも空き家が点在している。

☐

市街地の西にある小高い丘は市内や海を一望でき、かつて城があり、歴史小説の舞台となった場所である。現在は城址公園として整備され、歴史博物館や小さな動物園が設けられている。サクラの名所としても有名で、城址公園から港にかけては城下町の面影が残る街並みが広がっている。重要文化財に指定された西洋建築と庭が美しいホテルがあり、観光スポットとなっている。

☐

中央を東西に貫く国道は高速道路に直結しており、十分な歩道幅員と自転車通行帯が確保されている。

2. 開発計画

☐

貨物駅跡地の再開発が計画され、再開発に合わせて駅北側に出口が設けられる。

☐

国道沿いに、農業の6次産業化の促進、観光拠点として道の駅の建設計画が進んでいる。

☐

市役所前面（東側）にある南北方向の道路は、駅から国道までの区間において道路幅員の拡幅と歩道整備が計画されている。

☐

中央の国道には、並木の整備や沿道へのポケットパーク整備が検討されている。

☐

市街地の南西にある公立小学校が廃校となり、その跡地の活用が検討されている。

3. 自然の状態

☐

国道の南側には農地が広がっており、市街地の西側にはホテルが生息する里山と水田が広がる。

☐

市街地の北側には砂浜が東西に延び、海水浴場として利用され、港や砂浜からの夕日（朝日）が美しいことでも有名である。

☐

港から南西に広がる田園地帯に向けて小さな河川が流れているが、両側に歩道はなく親水空間として活用されていない。

☐

市街地の周辺には巨樹が点在し、いずれも国や県の天然記念物に指定されている。

■計画条件および留意事項

☐

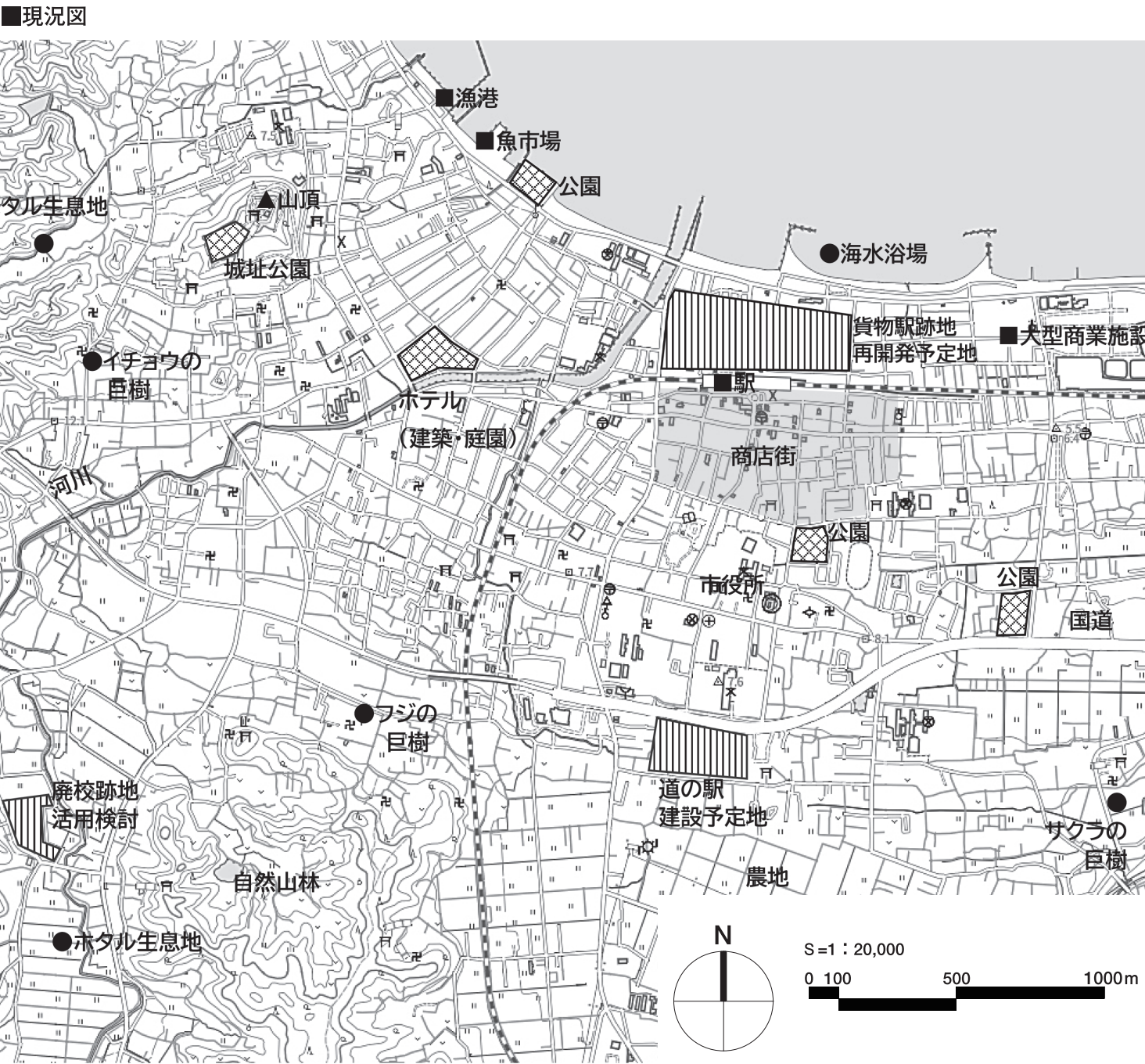
解答用紙の設問1の解答欄(田)～(水)には、指定された数以上の提案を、箇条書きで枠内に収まる範囲でまとめること。

☐

解答用紙の設問2の土地利用ダイアグラムは、例示した凡例を参考に、図面に設問1で記述した拠点・ゾーン・軸またはルートを表示し、その名称または略称を添えること。（○○拠点の整備、○○ゾーンの保全、○○軸の形成、等）なお、拠点やルート等の整備に伴う現状の道路形状や土地利用の変更、建物の改修は可とする。

☐

出題テーマや地形等の与条件を読み取り、ランドスケープアーキテクトとして求められる自然や景観を生かした計画を提案し、分かりやすい表現で土地利用ダイアグラムの作成を心がけること。



設問１ 以下の各問いについて、指定された数に沿った方針等を記述しなさい。

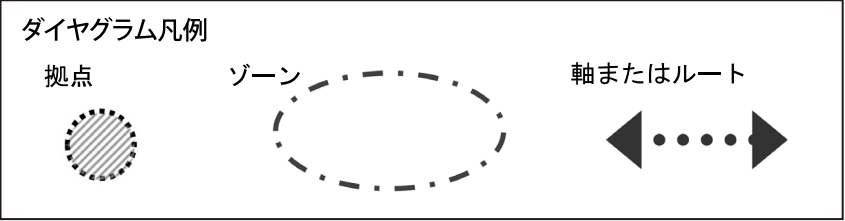
①出題テーマに沿って、『自然地域資源や産業を活かした住みやすく 活気あるまちづくり』の方針について、目指す方向性や導入機能を２項目以上記述しなさい。

②地域の自然・産業・歴史を活かした「拠点の整備」を３箇所以上設定し、その整備内容を記述しなさい。

③住みやすさや活気づくりにつながる「ゾーン」を４箇所以上設定し、その整備内容を記述しなさい。

④住みやすさや活気づくりにつながる「軸またはルート」を３箇所以上設定し、その整備内容を記述しなさい。

設問２ 設問１で記述した「拠点」、「ゾーン」、「軸またはルート」を、下記の凡例に示す表現を参考に図示し、その名称（略称でもよい）を添えて土地利用ダイアグラムを作成しなさい。



■現況図



No. 2 敷地計画図を作成しなさい (配点：20 点)

■テーマ

水辺の景観を活かしたグランピングサイトの敷地計画

■課題

計画対象地は、地方都市における樹林地や池に取り囲まれた公園の一部区画（120m×40m）であり、近年のコロナ禍における屋外に対する需要に応え、自然と親しみつつ気軽にキャンプ体験ができるグランピングサイトを中心とした施設整備をPark-PFI事業等により行うものである。グランピングサイトはグランピング宿泊者のみが利用可能な有料施設であるため、一般の公園利用者エリアとのセキュリティ区分やプライバシー確保はもちろん、利用者的高级志向にも配慮した敷地計画とすることが求められている。

以下の設問について解答用紙に記入しなさい。

設問1．大池を有する公園の景観や地形を活かし、セキュリティやプライバシーにも配慮して、グランピングサイトとグランピングサイト内の園路や水辺のデッキ、グランピングサイトに付随する管理棟と駐車場を図示しなさい。

合わせて周囲の公園との関係に配慮し、その他の施設や植栽の計画を図示しなさい。

設問2．グランピングサイトやその他の施設の配置、計画条件で指示のある事項についての考え方を記述しなさい。

■敷地条件

- ☐ 計画対象地は更地であり、東から西に向かって緩やかな傾斜により大池の水面まで下っている。
- ☐ 西側には大池、東側には公園利用者向けの駐車場、北側には樹林地、南側には公園園路が隣接する。
- ☐ 計画対象地の大池対岸は樹林地であり、良好な眺望が得られ、きれいなサンセットを楽しめる。

■計画条件

＜グランピングサイト＞

- ☐ グランピングサイト内にある芝生広場（面積、形状は任意）にグランピングテント（以下、テント）6基を個々の離隔にも配慮して配置すること。（平面形は解答用紙に示した通りである。）
- ☐ 各テントはそれぞれウッドデッキ上にドーム型テント（φ5.0m、窓付）とコンロの付いたバーベキューテーブル（□2.5m）により構成され、緑陰をつくる高木1本以上と雰囲気をつくる低木を各テントに配置すること。
- ☐ テントやバーベキューテーブルからも大池への眺望を楽しめ、地形や水辺の景観を活かした配置とすること。
- ☐ 芝生広場は多目的な利用を想定し、池の水際にその広場と連続して利用できる水辺のデッキを計画すること。

＜管理棟＞

- ☐ 建築面積360㎡の建物に10m×10mの木製テラスが付随したものとし、平面形は解答用紙に示した通りである。
- ☐ 建物は、グランピングサイトエリアへの入退場管理を行う事務室、宿泊者を対象としたトイレとシャワー、バーベキュー用食材提供のための厨房を有するカフェが入っている。カフェは公園利用者也利用できるように配置すること。
- ☐ グランピングサイトの管理や宿泊者の利便性に配慮し、かつ、カフェやテラスから直接池の眺望を楽しめる配置とすること。

＜駐車場＞

- ☐ 管理棟に接し、公園内の園路から車両が出入りできる位置に配置すること。
- ☐ 管理者用の一般車両ます2台分と、車いす使用者用駐車ます1台分を設け、凡例に従い図面に表現すること。

＜園 路＞

- ☐ 管理棟から各テントと水辺のデッキを繋ぐ、管理車両対応の園路（幅員3.0m以上）を計画すること。
- ☐ 管理棟から園路を繋ぎ、グランピングサイト中央を抜けるサブ園路（幅員1.8m以上）を計画すること。

＜管理施設＞

- ☐ 公園側からグランピングサイトへの宿泊者以外の侵入を防ぐゲートや柵を解答用紙に示した凡例に従い適切に配置すること。

＜その他施設＞

①水辺のデッキ

- ☐ 200㎡程度とし、適切に図示すること。
- ☐ グランピング宿泊者が大池の眺望やサンセットを楽しみつつ、水辺で遊ぶことの出来る配置とすること。

②ドッグラン

- ☐ 350㎡程度とし、解答用紙の凡例に従い周囲にフェンスとゲートを設け、管理棟とアスレチック広場に隣接させ、公園側からのアクセスにも配慮した配置とすること。
- ☐ グランピング宿泊者のプライバシー確保に配慮した配置とすること。

③アスレチック広場

- ☐ 500㎡程度とし、範囲を破線で図示し、ドッグランと隣接させ東側の公園や斜面テラスや公園駐車場からのアクセスの良い配置とすること。
- ☐ グランピング宿泊者のプライバシー確保に配慮した配置とすること。

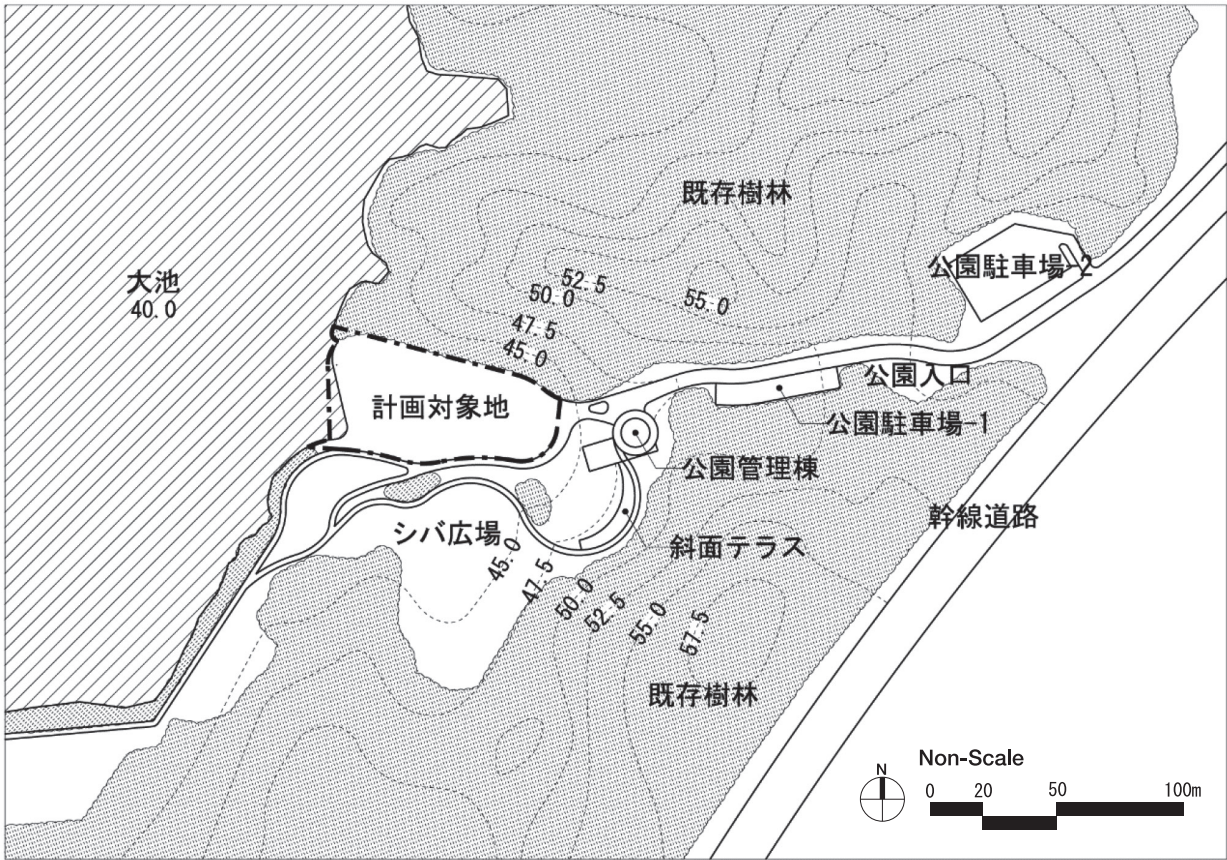
＜植栽＞

- ☐ ドッグランやアスレチック広場を含む公園側からグランピングサイト内への視線を遮るように植栽を計画すること。
- ☐ 管理棟カフェのテラスと水辺のデッキとの間では視線の見合いがないように植栽を計画すること。

■解答における留意事項

- ☐ 管理棟、テントは解答用紙に示した凡例に従い、図示すること。図示する内容は、各建物とテラスの外郭線と出入口記号のみで良い。建物出入口まわりの地形との高低差処理は考慮しなくて良い。
- ☐ 水辺のデッキと管理棟のテラスは計画対象地の範囲内であれば水面に迫り出しても良い。
- ☐ 各計画施設は、その概要が分かる程度の表現とし、必要に応じて寸法や面積等を記入すること。
- ☐ 図面表現を工夫し、解りやすく見やすい図面とするように努めること。

■計画対象地位置図



No. 2	敷地計画	1	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	
	問題用紙	2		

①出題テーマに沿って、『自然地域資源や産業を活かした住みやすく 活気あるまちづくり』の方針について、目指す方向性や導入機能を2項目以上記述しなさい。

--

[illegible][illegible]

ダイアグラム凡例

拠点	ゾーン	軸またはルート
		

Topographic map of the Katsuragi area in Nara Prefecture, Japan. The map shows the Katsuragi River (河川) flowing through the landscape, with various landmarks and features labeled in Japanese. Key locations include the Katsuragi Station (駅) and the Katsuragi Station Goods Station (貨物駅跡地). The map also shows the Katsuragi Station Goods Station (貨物駅跡地) and the Katsuragi Station Goods Station (貨物駅跡地). The map includes a scale bar (0 to 1000m) and a north arrow (N).

[illegible]

